

活動実績報告書

平成26年12月19日

登録番号 20140439

氏名 三浦 雄幸

1. 活動状況

平成25年4月～平成26年12月

(1) 活動の概要

秋田県の雄物川流域における各市町村については、平成26年度が市町村森林整備計画の策定年度であり、平成25年度から26年度にかけてその支援を行った。

(2) 当該活動を挙げた理由

森林総合監理士の役割・活動内容そのものであるため。

(3) 当該活動における、あなたの立場と役割

現場で森林経営の指導・実行を担う市町村等に対し、秋田県と東北森林管理局は、民有林と国有林のフォレスター等が相互に連携して技術面から支援するため、平成25年7月に「秋田県フォレスター協議会」を設置するとともに、流域ごとにフォレスターチームを編成し、具体的な活動に取り組むこととなった。

その中で私は、国有林野事業の一般会計移行に伴い、民有林と連携した施策の推進を中心的に担う県内の代表森林管理署であり、その役割を担うポストの秋田森林管理署の地域林政調整官の立場で、秋田県フォレスター協議会員として、雄物川流域フォレスターチームをサポートすることになったものである。

(4) 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

平成23年度中の市町村森林整備計画の一斉変更では、作業や準備の時間が限られていたこと等から、各市町村とも県の雛形どおりの計画書になってしまったところである。このため、今回の策定ではこれを改めることとし、「基本方針への地域性の打ち出し」を目標に取り組むこととした。

具体的には、平成25年度においては、市町村担当者を対象とした「次期の市町村森林整備計画の作成に向けての研修会」と、森林・林業・木材産業関係者も含めた「雄物川流域の森林・林業・木材産業についての意見交換会」を開催し、①計画内容について改善して欲しい事項を提案、②現状及び課題を把握するために事前アンケートを実施し、意見交換を行った。

平成26年度においては、25年度の取組を踏まえ、市町村担当者を参集した「市町村森林整備計画の作成に向けての全体研修会」を2回開催し、①第1回では、作成のポイント等について説明・意見交換を行うとともに、森林施業プランナーの協力も得て、各市町村の計画策定推進体制を決定、②その後、第2回までに基本方針のたたき台の作成等を進め、第2回では基本方針のたたき台について意見交換を行い、この段階で素案として仕上げ、市町村長への報告等に進めた。

(5) 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

当初の市町村担当者の反応は、「計画内容はこれまでと同じで構わない」といった鈍いものであったが、作成過程における議論を通じて粘り強く説明したところ、理解を得ることが出来、全市町村で基本方針に地域性を打ち出すことが出来た。

地域性が打ち出され、一定の成果は得られたものと考えているが、地域の意見の取り込みは十分とは言えず、また、浮き彫りとなった課題への対応についても、更に掘り下げ、具体的な取組につなげる必要がある。

このため、雄物川流域林業活性化センターとも連携し、引き続き森林・林業・木材産業関係者も含めて意見交換を行う中で、課題解決に向けた具体的取組を検討するなど、川上から川下間のコーディネーターの役割を果たすべく取り組んでいくとともに、市町村森林整備計画の着実な実行監理支援に取り組んでいく。

2. 研修の受講状況

研修名 准フォレスター研修 平成25年9月
(実施主体) 林野庁

研修名 准フォレスター研修(通信研修) 平成26年1月
(実施主体) 林野庁

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・ 平成25年度森林施業プランナー育成研修にオブザーバーとして参加
- ・ 川下の製材工場等の参加も得て、秋田県内の森林組合及び素材生産事業体の現場技能者等を対象にした「採材方法の勉強会」を企画・開催
- ・ 平成26年度東北森林管理局森林・林業技術交流発表会において、上記の活動内容を発表予定